

江戸川沿いの桜並木(いちかわ景観100選)



【解説】3月中～下旬頃、春の訪れを知らせる江戸川堤防の河津桜が開花する。市川南・妙典・国府台地先を併せた約120本の桜並木は、「市民参加型のさくらオーナー制度」により管理している。

# 市景

## 瓦版

～第5号～

### 「モダンカーサ市川市大和田四丁目景観協定」締結！

#### コンセプト

都市型住宅の中に緑と開放感  
を感じられる空間づくり



そもそも「景観協定」ってなに？

「景観協定」とは、一定区域内の土地の所有者、借地権者の全員の合意により締結される「良好な景観の形成に関する協定」のことで、景観法により定められています。

住民自らが地域の実情に応じたきめ細かなルールを取り決めることができ、市が認可することにより、引越しなどで土地所有者が変更になった場合にも協定は継承されるといった法的効果があります。

協定ではハードからソフトの内容まで定めることが可能です。

平成28年11月30日付で「モダンカーサ市川市大和田四丁目景観協定」(協定締結者:ポラスガーデンヒルズ株式会社)を認可しました。

市川市では、「中国分三丁目景観協定」(平成22年)、「若宮二丁目景観協定」(平成26年)に続き3例目となります。

#### 協定締結者のコメント

市川市より景観協定のお話をいただき計画に取り入れることになりました。

分譲地づくりを生業とし、商品の魅力づくりに力を入れてきましたが、市川市の「市民の為の暮らし方を、市の為の美しい街並みを」という熱い想いにより、更なるブラッシュアップをすることができました。

私達が行政と取り組むと大抵はできないことのほうが多いのですが、市川市の細部に至るまでの熱情には驚かされました。幾度に渡る変更・調整は大変な時もありましたが、結果として官民一体のこれまでにない街づくりができたと思います。ただ、本当の街づくりはこれからです。住民が自分たちの街に愛着を感じ、何世代にも渡り街を育ててくれるよう、見守っていきます。



計画地設計担当者

どうすればよい？

ステキなまち並みを  
守りたい・残したい！

協定締結

- ・住民同士でルールを作ろう！
- ・事業者として分譲時にルールを作ろう！

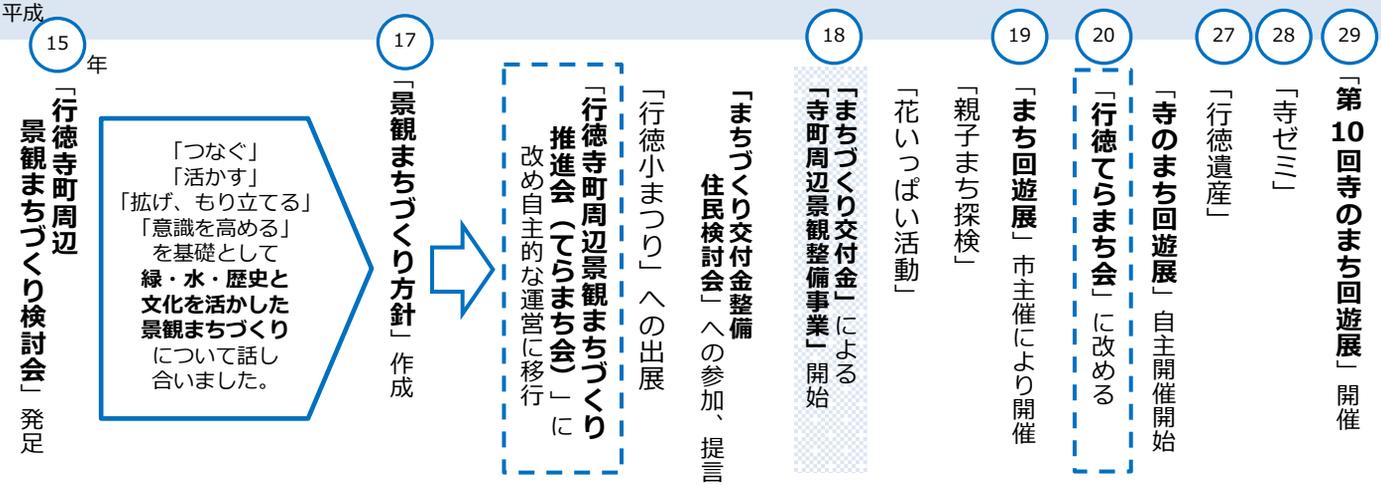
いろんな効果が

以前より地域が好きになった！  
地域の交流が増えた！  
土地・建物の価値が上がった！

# 行徳寺町まちづくり

行徳・妙典地区では数多くの寺社をはじめ、徳川家康が鷹狩へ行く際に通った「権現道」、行徳の「海」と「塩田」、街道造りの「民家」、成田詣の要であった「旧江戸川」「常夜灯」など、多くの景観資源を活かし、寺町の風情と地域の歴史を感じられるまちづくりが行われています。これまでの取り組みと、長年行徳の景観まちづくりに関わっている「行徳てらまち会」を紹介します。

## ◎ 行徳寺町まちづくりの歩み



### ○ 寺町周辺景観整備事業

まちづくり交付金により、寺町・常夜灯周辺の整備が行われました。寺町通りの無電柱化など、てらまち会の提言が取り入れられています。

歴史ある雰囲気  
の創出  
人にやさしい歩道空間  
ゆとりのある空間づくり



## てらまち会

に聴く!

長年行徳の景観まちづくりに関わっている「行徳てらまち会」の皆さんにお話を伺いました。

Q. 活動のきっかけは？

「行徳寺町周辺景観まちづくり検討会」から始まった行徳寺町の景観まちづくりに携わったからには、見届けたい、責任をもって実現しなくてはならない、という思いがある。

Q. 活動のやりがいを感じることは？

行徳地区には代々行徳で暮らしている住民と、他の地域から移り住んできた住民がいる。イベントに参加することで、子どもが学校の授業とは違う視点で地域を知る、子どもと参加した親が行徳の魅力を見出す『きっかけ』になり、皆が地域を理解して「愛着と誇り」をもてることを目指している。

ふとした時に、自然な気付きとして未来を担う子どもたちの身になっている実感を味わえることが喜びになる。

子どもたちや若い親の世代、地域のいろんな世代の方と交流できること。参加した子どもが後日「あの時のおじちゃんだ!」と言ってくれたこともあった。地元の人が声をかけてくれると、自分たちの活動を見てくれている、伝わっていると感じられて、嬉しい。

Q. 感じている地域の変化と、それをどう考える？

寺町通りも含めて、周辺の建物が現代風に建て替わっていると思う。昔は常夜灯から見えていた富士山も今では建物に遮られて見えなくなってしまった。

まちの様子が変化することは当たり前。でも、行徳の地域性は変わらないし、地域が行徳の良さを大切にしていたら人の心は離れていかない。それができているのが行徳の良いところだと思う。

Q. 活動を長く継続できる秘訣は？

「こうしなきゃいけない」と片意地を張らず、無理をしないこと。お金をかけるだけじゃなく、できることを工夫してやっていくことで十分に活動ができる。

1つ投げかけたものが自然に広がっていけばいいと考えてやっているから、今まで続けることができた。

Q. 長く続けてきたからこそその悩みは？

活動をどうやって次世代にバトンタッチすればいいか。興味をもってくれるひとはいるけれど、なかなか参加に繋がらない。「サポーター」として協力者を募ることも考えているが、実現にはいたっていない。

会員がなかなか増えていかないけれど、協力してくれる地域の方がいることはありがたい。会員が足を動かす、関係者に働きかけて理解してもらうことは大切だと思う。

行徳てらまち会の様子  
この日は地域の事業者も参加しました



# ◎ 行徳てらまち会の活動紹介

## 親子まち探検

お寺を中心に、行徳の歴史や文化遺産、地域の特徴などを探して地域の魅力を発見します。

平成28年7月、11月の親子まち探検では、権現道を歩いてお寺をめぐり、お話をうかがいました。

団扇太鼓を体験♪



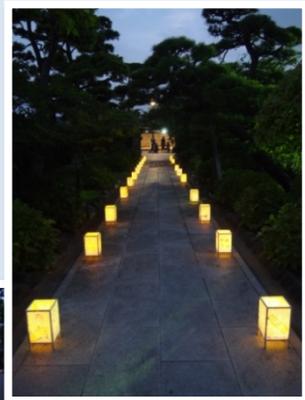
行徳てらまち会では、まちに興味をもち、地域に愛着と誇りをもってもらうことを目的として、寺社、地域、PTA等と連携して行徳の歴史と文化を伝える活動を行っています。

## 寺町「行灯」工作教室&ライトアップ

小学生が製作した行灯で、夏の夜をあざやかに彩ります。散歩の途中に立ち寄りの方、遠方から写真を撮りにくる方など、多くの方々に楽しんでいます。



行灯も自分で作ります



第10回開催！

## 行徳小まつり

会員である豆腐店店主による豆腐づくりの体験コーナーを出展しています。

## 行徳遺産

未来に残したい行徳の文化や風景のポストカードを製作しました。平成27年6月の親子まち探検では「行徳遺産探し」を行いました。描画は行徳在住の方によるもの。第10回寺のまち回遊展では新作が登場します。



## 寺ゼミ

平成28年に公民館主催行事として、寺町ならではの講座を開催しました。お寺と人をつないでいきます。



## 寺のまち回遊展

平成19年に市が行徳地区で行った「街回遊展」が発展し、「寺のまち回遊展」として自主的に開催しています。

回遊展の開催は寺社が門戸を開け、多くの方々に知ってもらえるきっかけとなりました。地元で楽しめるしかけづくりを目指しています。

第10回 寺のまち回遊展  
平成29年3月25日(土曜日)  
9:30~15:30(会場によって異なる)



回遊展の様子

# ★お知らせ★

## まちづくり家づくりCafe Ichikawa

- いちかわまち歩きガイドマップⅡを発行しました。  
『八幡・富貴島・真間川エリア』『中山法華経寺周辺エリア』
- 「世界の街並を語る-1」  
スライドとお話の会を開催します。  
講師 栗原宏光さん(建築写真家)  
日時 3月12日(日) 17:15~20:30(開場17:00)  
場所 I-Link第1会議室  
会費 500円  
定員 40名(要申込制 先着優先)  
主催 まちづくり家づくりCafe Ichikawa  
申込先 まちづくり家づくりCafe Ichikawa  
代表 高木 彬夫 TEL・FAX047-705-4817

## 中山まちづくり協議会

中山まちづくり協議会では、おひな祭りの時期に「中山のおひなまつり」を開催しています。今年も法華経寺をはじめJR下総中山駅や参道商店会などの各所におひなさまを飾り付けました。様々な企画で市内外からのお客様をおもてなしています。

「子育てのまち・中山」  
ならではの催しです。  
日時 ~3月3日(金)まで  
10:00~16:00  
(会場によって異なる)



お知らせ、取り組みの様子など  
景観まちづくりの情報をお待ちしています！

募集中！

# Gardening Festa × Open Garden オープンガーデン オーナーに聴く!

オープンガーデンを主体としたイベント「まちなかガーデニングフェスタ2017春」を4月5日に開催いたします。参加件数は過去最多の63件。コンサートなどイベントも同時開催され、ガーデニング愛好家でなくとも楽しめる催しとして定着して参りました。今回は、2017春に参加されるオーナーの方からオープンガーデンの魅力や、日頃どのような思いで活動されているかを伺いました。



オープンガーデンの魅力は「見て頂けるありがたさ」「来場者との会話の楽しさ」「フェスタ参加者同士の交流」にあります。小さいながらも花咲く庭、友人・孫と一緒に作った小物を披露できることはとても嬉しいことです。来場の方々と花の話から人生の悩みまで多様な話題に花が咲きますし、同じ花好きであるフェスタ参加者との交流からは学ぶことも多く励みになっていきます。これからはますます参加者が増えて、市川市の街がさらに花と笑顔の溢れる街になりますように願っております。

## 12回連続参加 加藤さん(北方)の声



私の活動の原点は園芸と同じ15年ほど前に始めた門松づくりにあります。DIYは個性を表現できるのが醍醐味!手頃な素材で日本らしい感じを出そうと親戚からもらう竹を勘で切り、バケツに荒縄を巻いて土台とした門松は近所の方からも「これを見て好評でした。以来、周りの人の喜ぶ顔が見たくて作業に没頭しています。気がつけば「平山さんの好みに庭をアレンジして」「家の木を切ってくれませんか」と相談を受けるほど、自宅から近所へと活動範囲が広がっていました。これからもたくさんの方の笑顔に出逢えるよう、一日一日を楽しみたいですね。

「その笑顔に逢いたく!」

平山さん(若宮)

▲様々なテーマを模した庭で見る人を楽しませる

▲春はパンジー、秋はコリウスで通りたくなる道づくりに貢献

## まちなかガーデニングフェスタ2017春

陽春の庭 : 4/15・16

初夏の庭 : 5/13・14

10:00~16:00

※過去最多の63件(庭・イベント込) 公開予定!



新規個人宅も登場

【参加件数の推移(春)】



4/15・16 (陽春の庭)  
5/13・14 (初夏の庭)  
10:00~16:00

いちかわ  
オープンガーデン  
素敵なお庭で心温まるひとときを

Spring 2017

まちなかガーデニングフェスタ  
—2017春—

※詳しくはHPまたはパンフレットをどうぞ  
(4月1日以降、市内公共施設等に配布)

▲詳細は4月1日以降配布のガイドブックをご覧ください